

北播支部ニュース

2014年11月

150号

兵庫県保険医協会 北播支部
〒650-0024
神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階
電話 078-393-1817

認知症研究会 感想文 症例ごとの病態紹介に納得

北播支部は9月27日、小野市内で第1回認知症研究会を開催。「認知症の理解と多職種連携」をテーマに、つちやま内科クリニックの土山雅人先生が講演し、18人が参加した。柏木有二先生の感想文を掲載する。

症状、器の変化を認知症疾患とおっしゃった点は興味深いことでした。両者を見極めるには、多職種の連携が必要と説明されました。

は「病名をつける」ことにこだわらないで、その人の病状・病態に応じた対応が必要であると話には説得力がありました。

次に認知症をきたす疾患として、主にアルツハイマー型認知症(AD)・レビー小体型認知症(DLB)・前頭側頭型認知症(FTD)について説明があり、ADの臨床経過において、タウ蛋白と老人斑との関係や、DLBにアリセプトの適用となったこと、FTDにおいては「万引き」などの犯罪行為などで気づかれることがあるという話が興味深かったです。また、認知症には種々の病変が混在しているので認知症の診察に

最後に、認知症の進行とともに嚥下障害が生じ、終末期になっても「必ずしも最新もしくは高度の医療やケアの技術の全てをつぎ込むことを意味するものではない」という医療倫理の話がありました。今回は多職種連携に関しての話は少なかったので残念ですが、今回の話を参考に、今後の診療に活かしていきたいと考えています。ありがとうございました。

【小野市 柏木 有二】

土山先生より、興味あるお話を聞かせていただきました。特に認知症の病態を日常生活における具体例を挙げて説明していただきました。側頭頭頂葉を車に例えれば、エンジンとタイヤ(運動しないとうまく進めない)。前頭葉はハンドル(進む方向を決める)。また、花と器を例にとり、少なくなった花の変化を認知

症に

「患者の病状・病態にあった対応を」と
土山先生(上)



18人が熱心に聞き入った(中)

林武志先生が司会を務めた(下)



次回 支部世話人会

日時: 11月19日(水) 19:30~

会場: 小野市・加東市医師会館

ざっくばらんな集まりです。

ぜひご参加ください。

お問い合わせは TEL: 078-393-1817

事務局: 吉永、佐々木まで

協会ホームページご活用下さい!

URL: <http://www.hhk.jp>

協会ホームページは随時更新しております。

北播支部のニュースや活動も掲載されます。

ぜひご活用下さい。

兵庫県保険医協会

検索



認知症研究会のその他の感想を紹介します

とてもわかりやすく、事例がとても参考になりました。特に問題点をまとめて教えていただきました。誰にでもおこりうる病気、健康教育で人に知らせる。参考になりました。

た。これからもこのテーマで引き続きお願いします。
(保健師 経験年数 25年)

てうかがいたいのです。
(ST 6年)

認知症のパターンがいろいろあるんだと発見できました。またお話しうかがいたいと思います。ありがとうございました。ありがとうございました。

わかりやすい話で事例も交えられ、貴重な時間でした。考えていかないといけない事例もあり、今後に活かせそうです。事例紹介を多めの報告を、隔月ぐらいで聞きたいです。(看護師 27年)

基礎から学ぶことができ、事例があり、興味深い研修会でよかった。事例をもっと数多く学びたいと思いました。事例を通じ、良かった点、要改善点をあげつつ学びたいです。(ケアマネ 12年)

(看護師 31年)



具体例を紹介しながらの講演に納得

(介護士 8年)

連携が大切だと改めて勉強になりました。症例についても興味深く聞かせていただきました。(介護士 7年)

とても丁寧に認知症疾患から事例まで説明していただいて、理解が深まりました。今後、生活習慣病と認知症の関係について

とてもわかりやすい講義でありがとうございました。診断名にとらわれずにその個人個人の生活の中での症状と対応することの重要性を再確

認できました。

(看護師 35年)

認知症についての考え方を非常にわかりやすく教えていただきました。1人1人の患者さんにそれぞれ対応は異なるということがよくわかりました。現場の中で1つ1つのケースに対しての検討を行いながら、よりよいケアを考えていきたいと思います。ありがとうございました。

兵庫県保険医協会 第86回評議員会のご案内

(臨時(決算)総会・第37回共済制度委員会)

11月16日(日)13時00分～ 兵庫県保険医協会会議室

- ・13:00～ 第86回評議員会・・・前半期活動報告と後半期の課題
- ・14:30～ 臨時(決算)総会・・・決算と監査報告
- ・14:50～ 第37回共済制度委員会
特別報告「危険水域の日本経済、生保業界の生きる道(仮)」
三井生命保険(株)営業推進統括本部 関西ブロック長 久慈宏明氏
- ・16:00～ 特別講演(会場は兵庫県農業会館へ移動)
「集団的自衛権が許されないわけ」
元内閣法制局長官 阪田雅裕氏

安倍内閣による集団的自衛権行使容認の閣議決定に対し、元内閣法制局長官として立憲主義を守る立場から批判されている阪田雅裕さんに、日本人が他国の人々と「殺す殺される」関係にならないよう守ってきた憲法9条の意義について講演いただきます。

〈さかた まさひろ〉1943年生まれ、和歌山県出身。東京大学法学部卒業後、大蔵省へ入省。1981年内閣法制局第一部参事官に就任。その後、大蔵省大臣官房参事官、内閣法制局第1部長、内閣法制次長などを歴任し、2004年から内閣法制局長官。2006年退官し、弁護士登録。アンダーソン・毛利・友常法律事務所顧問就任。また、社会福祉法人全国盲ろう者協会理事長、大阪大学大学院法学研究科客員教授などを兼任する。主な著書に『政府の憲法解釈』(有斐閣、2013年)、『法の番人』内閣法制局の矜持(大月書店、2014年)など。



認知症の捉え方をわかりやすく解説していただいていたためになりました。認知症の方の問題点を「病的な状態」「老化」「廃用」のどこが主体かとらえることが重要とお話しは大変参考になりました。

(医師 19年)

介護と医療、大変なところは違いますが、お互いに知識を蓄え、行動にうつしていくことが大切と思いました。今後の研究会はグループワーク形式のものがあれば有難いです。

(管理栄養士 3年6カ月)